男子が隣の席の女子におちんちんを見せた保健の授業

小6の頃の保健の授業の時の話。先生が黒板に「おちんちんの仕組み」って書いた。「今日は、女の子がおちんちんのことをしっかり理解する授業です」って、ちょっと低い声で言った。みんなビックリして顔を見合わせた。先生が続けた。「男女ペアで学びます。隣の席の子とペアになってください。」

俺は隣の席の美穂ちゃんとペア。急にめっちゃ気まずくなった。「マジか…」って小声でつぶやいたら、美穂ちゃんがチラッとこっち見て、すぐに目をそらした。いつもならふざけて話しかけるのに、今日はなんか言葉が出なかった。顔が熱くなって、めっちゃ恥ずかしかった。

先生がさらに言った。「男子は立ち上がって、女子の方を向いてください。制服の下を

パンツまで脱いで、女子に見せてください。女子はそれを観察して、ノートにメモを取ってください。写真を撮ってもいいよ。授業だから、ちゃんと見てね。」

教室が一瞬、しーんとなった。次の瞬間、女子の何人かが「えー！？」「うそ、ほんと！？」って小さな悲鳴を上げた。後ろの席の彩花ちゃんが「やだ、恥ずかしい！」って手を口に当てて、顔を真っ赤にしてた。男子も「え、うそ、マジで！？」ってざわざわし始めた。教室のあちこちで、友達がモジモジしながら立ち上がるのが見えた。健太はズボンのベルトを握ったまま固まってたし、翔太は「こんなの無理だって…」ってブツブツ言ってた。

俺は「マジかよ…やだな、これ…」って小声でつぶやいて、めっちゃ嫌だった。手が震えて、ズボンのポケットに突っ込んだまま動けなかった。顔が真っ赤になって、目が泳いでた。「優太くん、早く！授業なんだから」

と先生が言うと、「ううん…わかったよ…」って、しぶしぶ立ち上がった。美穂ちゃんが目を逸らしてこっちを見ないようにしてるのがわかった。なんかそれでちょっとホッとしたけど、めっちゃ恥ずかしかった。

教室のあちこちで、友達がズボンを下ろし始めた。カチャカチャってベルトの音が響いて、パンツがスルッと下がるたびに、女子の悲鳴が上がった。「きゃー！」「うわ！本当に脱いだ！」って声があちこちから聞こえた。前の方の席の梨花ちゃんが「おちんちんだ…」って小声で言って、隣の子とクスクス笑ってた。健太がパンツを下ろした瞬間、ペアの女の子が「ひゃっ！」って大声で叫んで、教室が一瞬笑いに包まれた。俺は「うわ…最悪…」って思った。

俺は震える手でズボンを下ろした。「最悪だ…」って小声で言いながら、パンツを膝まで下ろした。